

広報

# かわにし

(毎月10日発行)

人口の動き

— 6月1日現在 —	
男	4,580 (3)
女	4,691 (-1)
計	9,271 (-2)
世帯数	2,284 (0)

( ) 前月比較

昭和63年 6/10 No.358

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3826)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



## 待ちどおしい プール開き

—5月25日 上野小学校—

6月のプール開きを前に、4年生以上が放課後、中にたまった落ち葉やどろをきれいにしました。

春さきから温かい日が少ない今年、水しぶきを上げる日を心待ちにしています。



### 休日救急医

6月12日 第二藤巻医院(上野) ☎68-2018

19日 山口医院(袋町中) ☎52-2174

26日 中条病院(中条) ☎57-3018

7月3日 庭野医院(寿町) ☎52-2711

10日 千手診療所(中央町) ☎68-2034

# 議会報告

五月十日、第二回町議会臨時会が開かれました。専決処分した税条例の一部改正と六十二年度一般会計補正予算の二件が、承認されました。さらに、国保条例の一部改正が原案どおり議決されました。

## 国保の保険料限度額と 軽減措置の限度額を改正

### 税条例改正

地方税法の改正に伴って、税条例の一部が改正されました。  
① 固定資産税額が二千四百円以下

ことになっていましたが、六十三年度から四千円未満に改められました。  
② 国鉄の民営化に伴い、同固定資産税の課税標準額は、六十四年度から七十一年度まで二分の一に減額適用することになりました。

③ 固定資産税の六十三年度評価替えに伴う負担調整措置の適用期限が、六十五年まで延長されました。  
④ 県基準地価額の上昇率区分で宅地や農地などは、新たな調整率を加え、固定資産税の軽減をはかるように改められました。

### 国保条例改正

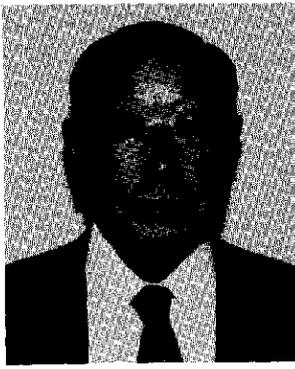
国民健康保険料限度額が、六十二年度分から三十九万円が四十万円に改められました。一方、軽減措置の限度額が、二十万五

### 専決処分

議会では、六十二年度除雪経費の減分を、財政調整基金の積立金とするなど九百五十二万三千円の追加予算が承認されました。



除排雪作業 (2・23中央町)



前農協 協長 清水儀七さん

## 勲 6 等 単光旭日章を受章

このたび春の叙勲で、下平新田の清水さん(77)が、勲六等単光旭日章を受章しました。長い間、農協役員として、地域の農業振興に尽くされた功績が認められたものです。六月十八日には、丸山農協組

合長を代表発起人に、同祝賀会が予定されています。

### 農協の主な経歴

- 30 24 30 31 上野農協専務理事 (6年1月)
- 44 28 30 31 同組合長 (13年11月)
- 45 31 44 31 同組合長 (13年2月)
- 45 31 44 31 同組合長 (13年)

### 関係団体歴

- 31 26 31 26 中魚養蚕連 (十日町シルク理事) (3年)
- 34 26 34 26 同監事 (3年)
- 37 26 37 26 同副会長 (3年)
- 40 26 40 26 同理事 (9年)
- 49 26 49 26 同理事 (9年)
- 40 26 40 26 同理事 (9年)
- 46 26 46 26 同理事 (9年)
- 52 26 52 26 同理事 (9年)
- 57 26 57 26 同理事 (9年)

### 表彰

- 57 3 57 3 全国農協中央会長表彰 (功労)
- 57 11 57 11 県知事表彰 (農林水産業振興功労)

「広報かわにし」アンケート

# 各年代から 無差別に二百人

本紙四月号をお配りした折、町内の二百人のかたがたを対象に「広報」に対するアンケート調査をお願いしました。

いままで六十二年六月号と、六十二年一月号を対象に、二回実施しました。そして、いただいたご意見を参考にしながら、内容も改めてまいりました。今回も、同じ方法で、十五歳以上を対象に、それぞれの年代から合わせて男女各百人（前回までにお願した四百人は除く）を、無差別に選んでご協力いただきました。

四月三十日までには百六人（回収率五三%）から回答が寄せられました。以下、その結果をお知らせします。

広報かわにしを、毎月お読みになりますか。 （数字は回答人数）

- 全部読む 四八
- 部分的に読む 五四
- 全然読まない 三
- 白紙回答 一

広報四月号を、ご覧になってお答えください。

（以下複数回答）

- ①興味をもったところは
  - 四〇 議会報告（施政方針）
  - 四〇 ねんきんふくし
  - 四〇 議会報告（施政方針）
  - 三七 小脇分校の閉校式
  - 三五 歴史は語る
  - 二八 北海道ンネル

②もっと内容を知りたいところは

- 一六 議会報告（総括質疑）
- 一六 ねんきんふくし
- 一五 議会報告（施政方針）
- 九 小脇分校の閉校式
- 九 歴史は語る
- 九 五口まで一カ月間に生まれたお

③おもしろくない内容は

- 一〇 議会報告（総括質疑）
- 一〇 歴史は語る
- 九 かわにし俳壇
- 七 議会報告（施政方針）
- 四 ハッピーかつぶる
- 四 ねんきんふくし

④ほとんど読まないところは

- 二二 議会報告（施政方針）
- 二二 歴史は語る
- 二二 議会報告（総括質疑）
- 一一 かわにし俳壇
- 七 ねんきんふくし

⑤内容がわかりにくいところは

- 九 歴史は語る
- 六 議会報告（総括質疑）
- 五 同（施政方針）
- 四 ねんきんふくし
- 三 かわにし俳壇

## いただいた主な ご意見から

「戸籍の窓」について  
①番号を入れる。  
②生まれた年の月日を入れる。

子供をのせているのですから、おおよその判断をしていただきたいと思います。 (同)

子供も読める内容にしてほしい。

市町村広報担当の指導機関「日本広報協会」では、中学生が読める程度の漢字や内容にすることを基準にしています。私どももおおむねそれに従っています。ところが「議会報告」などでは、どうしても、それが困難な場合があります。一方今春、町内各学校を訪問し、学校の行事などあらかじめお知らせいただくようお願いしてあります。今後は、つとめて学校のことや子供向けの内容も盛りこんでゆくつもりです。 (文書広報係)

若い人の写真を多くせよ（年齢も入れて）若い人が好むような話題など、内容を工夫してください。

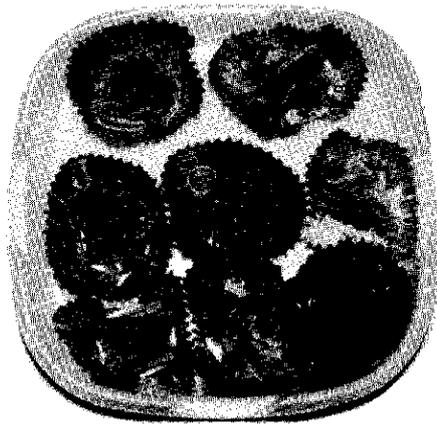
私どももできるだけ堅苦しい内容にならないよう努力しています。写真も以前より多く入れています。ただ、日本広報協会あたりでも「広報も行政の一環だから『首長の住民に対する報告書』としての使命を忘れてはならない」と言われています。ですから、週刊誌的にただおもしろければよいということではないと思っています。先般の雪まつりのような催しがあれば、広報もおのずから若い人たちの話題を多く提供できることとなります。若いみなさんのご活躍を期待しています。また、年齢は特別な投書やご意見などには入れることもありますが、そのほかは記載しないのが一般的のようです。 (同)

# ブナの家で ふれあい山菜メニュー



五月七日高倉ブナの家では、初めての「山菜まつり」(高橋庄三実行委員長)が開かれました。匡察対の方々や地元のお客様など百三十人ほどが集まり、雪の残る山々から高倉の人たちが集めた十五種類ほどの山菜フルコースを味わいました。

会場には、山から運んできたブナの若木も飾られました。揚げたての山菜のテンブラは大好評で、調理が間に合わないほどでした。六十二年三月閉校以来の同地区民の寂しさも、大勢のお客様で活気が呼び戻されたようでした。



献立の一部から…

コゴメの からしあえ      フキノトウと ツクシの酢の物

トリアシとヌノバの からしあえ      キノメの 巣ごもり      ウルイの マヨネーズあえ

ウドの 油いため      タニシと アサズキのぬた      ゼンマイの 煮物



▲ テンブラと山菜汁 は最高の味

▶ 山菜の宝庫 「高倉」 (4.15)





# ふるさとの 思い出

茨城・河内村  
高橋 ミナ さん  
(高倉出身)

「高倉ブナの家」名付け親の  
池谷さんと南雲町長



先日の山菜まつりの折には、皆様とご一緒に楽しいひとときを  
ももて、大変うれしくございました。

この度、そのときの写真や、広報かわにしを送っていただき  
ありがとうございます。なつかしく、あの日の体育館（高倉ブナ  
の家）の中を、今一度眺めております。

町役場の方も高倉の方も、ご準備その他で大変でしたことご  
ざいましょう。同封にて「温故知新」と染めぬかれたおふるし  
き（編集部注―本紙寄稿の謝礼）もありがとうございました。  
池谷が早速使わせていただくと申しております。

町長はじめ皆様になにとぞよろしくお伝えくださいませ。

五月十六日

池谷 澄江

茨城県河内村役場から同村広報紙「広報かわち」が送られて  
きました。その中に、高倉から同地へ昭和四十五年に転出した  
高橋さんの一文が掲載されていました。ご紹介します。

私が生まれたのは、高倉とい  
う集落です。山あいの村で、家  
も田んぼも、山の斜面にへばり  
つくようにあります。

周りは山ばかりなので、山菜  
などはいくらでも採れます。ア  
ケビ、野イチゴ、ユリの根、タ  
ラの芽など、学校が終わるとこ  
れを採りながら山の中を駆けず  
り回りました。

各集落ごとに、春と秋に行わ  
れる村祭りも楽しみの一つでし  
た。子どもや若者の相撲、草競  
馬、村人たちの芝居や神楽、祭  
りの日は、ごちそうを作って、

一山向こうの隣村の親類を呼ん  
だり、こちらが呼ばれたりしま  
した。

ですが、働き手の男たちは、  
みんな出稼ぎに出てしまい、村  
の中には、年寄り子どもと女ば  
かりでした。私は、同じ集落内  
に嫁いだのですが、主人と会う  
のは年にたったの四回、正月と  
お盆、春と秋の祭りのときだけ  
でした。そんな生活を、三十年  
以上続けました。

雪深い村ですから、急病人が  
出たときは大変です。村中総出  
で、十二キロ先の医者まで運び

## 自然のままの味 山菜アラカルト

最近、山菜がちよっとしたブ  
ームを呼んでいます。にが味も  
辛味もそのままの自然の味は、  
舌にも心地良い刺激です。

山菜の食べ方としてはテンプ  
ラ、おひたしが一般的です。特  
にテンプラは、揚げることによ  
ってあくや臭みが抜けて食べや  
すくなり、ポリウムも出るの

で若い人からお年寄りまでど  
たにも喜ばれます。スギナ、ヨ  
モギ、タラノメ、ヤマウド、ツ  
ユクサ、オオバコ、ドクダミな  
どの若芽や若葉がテンプラ向き。  
衣に砂糖と塩を少々、酢を一、  
三滴たらしのがコツ。油を百六  
十―百七十度にしてからりと揚  
げます。

ます。雪をかいて道を作りなが  
ら、そりで病人を乗せて運びま  
す。ですから、私は、医者に行  
くときは死ぬときだと思ってい  
ました。

でも、今ではすっかり環境が  
整備され、冬の無雪道路も確保  
されています。そして、東京か  
ら俳優や医師、大学教授らのグ  
ループ十数人のセカンドハウス  
が建ち、国際村が設置されてい  
ます。

一方、過疎化の波は防ぎよう  
もなく、子どものころ八十軒あ  
った集落も、今では二十軒軒に  
なってしまうようです。私が  
通った懐かしい小学校も、去年  
廃校になってしまいました。

おひたしやあえものには、あ  
く抜きの下ごしらいが重要です。  
ほとんどのものは熱湯に通すだ  
けで十分ですが、タンポポ、ド  
クダミ、ナズナ、スギナなどは  
熱湯に塩をひとつまみ入れた中  
で、一、二分ゆがいて冷水にさ  
らしてください。

ワラビ、ゼンマイのあく抜き  
は木灰や木炭のくだいたものを  
使います。パットなどに山菜を  
並べた上からまんべんなく振り  
かけ、熱湯をかけ、落としぶた  
をし、重しをのせて一昼夜、そ  
のまま熱湯に入れてゆで、二、  
三時間おきます。少々手間がか  
かりますが、ゆでてビニール袋  
に入れて売られている市販のも  
のとは比べられないおいしさで  
す。



イタリア料理の講師マリアさん（日本学科大学院生）

# 発見

## 世界のおいしさ

次々とユニークな企画・実行  
**角万寺スキー場管理組合**

5月1日、角万寺スキー場管理棟で「世界の料理を食べる会(同スキー場管理組合主催)」が開かれました。

この催しは、大和町にある国際大学の方がた3人をお招きし、イギリス、イタリアの家庭料理を作り、食べようということと、村おこし講演会の二つのイベントが同時に進められました。

「国際化時代」到来の時期にふさわしいこのイベント。参加者は、楽しい時間の中で、ことばの壁を乗り越え、外国の人とのつながりを味わったようです。

通訳は、十日町高校の生徒さんにお願ひしました。



イギリス料理の講師  
 キャロラインさん  
 (教授夫人)

講演する霜垣和雄さん  
 (十日町市六箇出身、主任研究員)



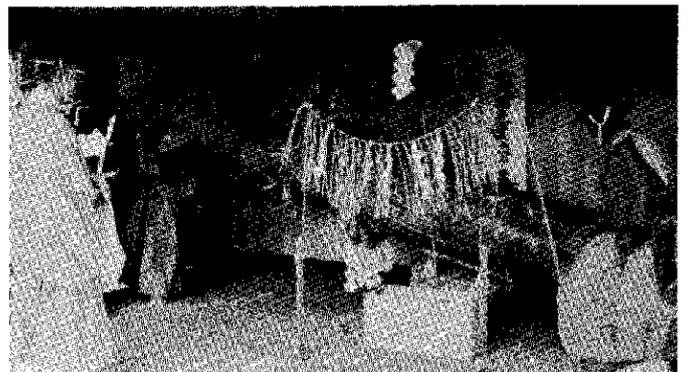
## 町の木ブナの下で

5月22日二六公園で、第19回ブナ林まつりが開かれました。あいにくの肌寒い小雨の日でしたが、町のイメージカラー、ブナの若葉色が映える中に200人ほどが集まりました。BSNラジオ公開録音の歌謡ショーなどを楽しみました。

## 節黒城山開きまつり =展望台に新名物誕生=

5月29日大名行列で有名な、節黒城山開きまつりがありました。今回のおまつりに合わせ展望台の下には名物が誕生しました。

それは、60年夏の落雷によって折れた松の大木(樹齢400年)を利用したみごとな「男性のシンボル」です。同保存会(若山三郎会長)では町の人口増加を願ひ、シンボルに「天照光皇之子大明神(てんしょうこうおのこだいみょうじん)」と命名しました。



# いかがですか、 うまい おにぎり

おにぎり作品コンクールから

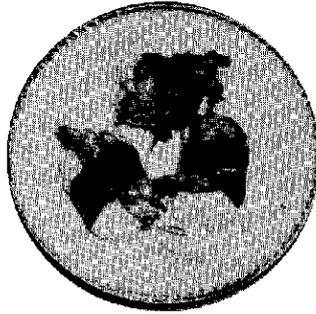
シリーズ②



高原田 丸山君子さん

ササギ、ゴマ、クリ、塩、のり

もみじおにぎり



沖立 数藤ナヲさん

ニンジン、ゴボウ、エビ、ヒジキ、コウナゴ、タマネギ、ピーマン、卵、小麦粉、のり

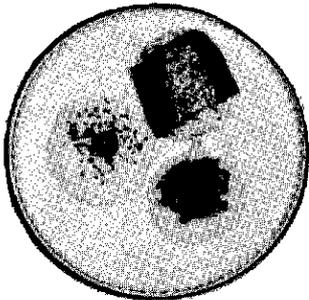
天むすおにぎり



中島町 小林実子さん

梅干し、でんぶ、タラコ、ゴマ、青のり

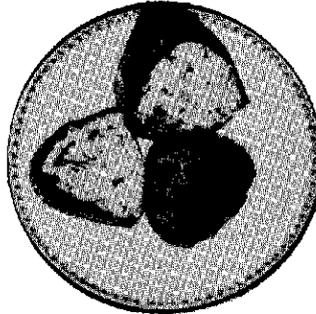
ユマ、タニ串おにぎり



中仙田 小林輝子さん

クロゴマ、ユカリ、梅干し、ショウガみそ、のり

貧血予防おにぎり



沖立 数藤リエさん

ダイコン、カツオ節、タラコ、酒、みそ、砂糖、のり

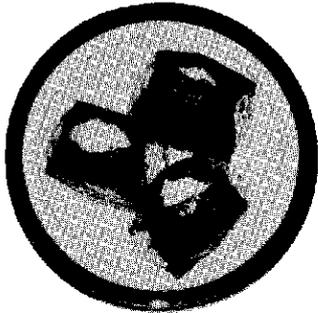
焼きそばダイコン菜入りおにぎり



原田 丸山タヒさん

クリ、シメジ、ショウガの梅酢漬

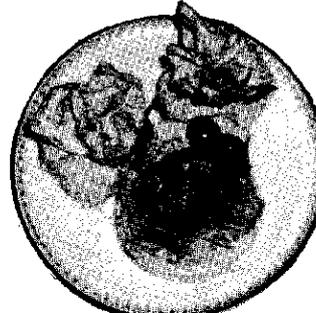
秋の味おにぎり



室島 増田敬子さん

シバ漬、シロゴマ、カブナ、サクラエビ、酢、のり

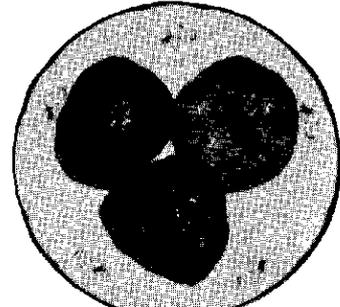
三色すしめしおにぎり



上町 大溪智子さん

焼豚、タマネギ、ニンジン、ピーマン、ホウレンソウ、ケチャップ、こしょう、塩、卵

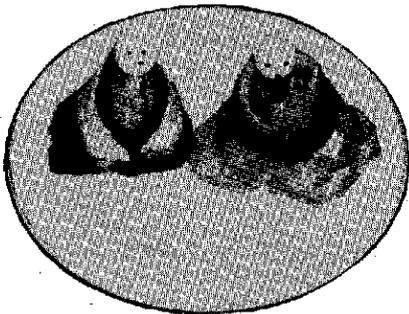
チャートハンのきんちやくおにぎり



仁田 田中ミヲエさん

梅干し、シソ、サケ、卵、小麦粉、パン粉、のり

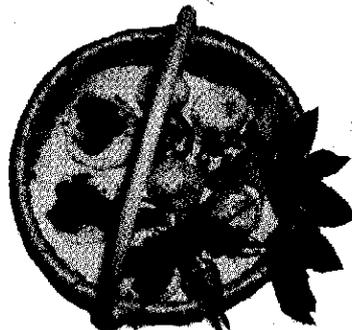
かわりおにぎり



室島 高橋アサさん

キノコ、菊の花、卵、ウズラの卵、のり

ひなさまおにぎり



中屋敷 樫間ヒサさん

タラコ、シソの実、ショウガ、きな粉、みりん、みそ

三色・献参焼おにぎり



発電所通り西 宮シズ子さん

シイタケヒジキ、ひき肉、ショウガの甘辛煮、紅ショウガ、錦糸卵、ササ

ササおにぎり

歴史はる  
15  
歴史

# 川西郷の農地改革 ⑦

岩瀬金子幸作

## 感動した小作衆

室島の高橋某は、増田家から畑一〇坪(三三平方メートル)を借りて小作し、年貢として毎年大豆二合(約三〇〇グラム)を納めていた。わずかで、世間並みの地主、小作といえる関係ではなかったが、農地解放が始まってまもないある日、どんな様のお呼びで増田家に参上した。

その夜、本宅の大広間に七十余人の小作人衆が集まった。だけれども、耕地を手放す大だんな



整備される前の田んぼ(49年伊勢平治地内―土地改良区提供)

から嫌味のひとつも言われるのではないかと不安顔であった。ところが、そうした懸念をよそに、一人ひとりに豪華な夕食のぜんが振る舞われた。当主の克治が直々に酒をつぎ、小作人衆の長年の労をねぎらったのである。

## 昔の人のおおらかさ

下原の水入れ地主(編集部注)―地主から一定区域の土地を任されて、小作人に対して耕作と畜の権限を持っていた人)であった丸山某は、地主から委任された耕地の一部を、野口の越村某に小作させていた。ある年、村越某が次男を分家させたとき、その小作地を丸山某に無断で与えてやった。家持ち(分家)に出た次男は、それを知らずに小作し三十年の歳月が流れていた。

農地改革で地主を調べたところ、水入れ権は上野村の上村某にあることがわかった。大正初年に、丸山某が妹を上村家へ嫁にやるとき、この田の耕作権を財産として妹に与えてやっていたのである。人の良い上村家は、

村越某からこの田を取り上げもしないで、そのまま小作させていたのであった。

この事実を知った村越某の次男は、当時は貴重な小豆を一俵(約六〇キロ)上村家へ贈り、長年小作していたことをわび、昔の人のおおらかさに感謝しながらその田を解放してもらったという。

## 土地改良に向けて

千手町では、農地の解放を受けた人たちの表情が明るく、だけれども大地主になったように町中をかっぱした。それにひきかえ、伝来の土地を手放した地主層は物心ともに痛手が大きく、多難な一家の生活に懸命となった。全町的にいえば、農地が細分化して解放されたため、自作農は創設されたといっても中堅的農家が少なく、合理的な適性規模農家をどのように育成していくかが課題として残された。

世相が落ち着くにつれて、土地の奪い合いが起こることも予想された。土地改良事業を強力に推進して、不穏な事態の収拾をはかりたいとするムードがしだいに盛りあがっていった。

## 新人の台頭がめだつ

上野村が最も変わったのは、

これまでの水入れ地主が、村のあらゆる面に台頭したことであった。たとえば、四ヘクタールの田に水入れ権を持っていた小作者が、自作農家の人たちを追い抜いて集落や村の運営に参画し、政治の舞台で華々しく活躍するようになったことである。

## 自作農で生活も安定

橘村では、農地は解放されたものの、従前の小作地が自分の所有地になったというだけで、耕作地までの所要時間や水利用などは昔と変わらなかった。したがって、自作農家となった意欲が合理的な生産増強に向けられたが農家労力の変動にともなう、農地の交換分合や土地改良を本気で考えるようになった。

農地は解放されたが、カヤぶき屋根の補修にどうしても必要な刈り干し山(同注)草刈り専用の山野)や、家庭燃料用のボイ(同注)たきぎ)山が未解放のため、自作農家はふえても農家経済の差は年々広がっていくことが憂慮された。とはいえ、この村がいちばん変わったのは次の三点であった。

- ①旧地主が弱体化した。
- ②自作農家が増加し、精神的経済的に生活が安定した。
- ③ボイやカヤなど、小作して

いたときは地主の厚意で容易に入手できたのに、農地解放で不可能となり、山林、原野の資本的価値が高くなった。

## 農地の交換分合へ

仙田村では、農地が解放されたことで耕作権の争いがなくなり、農民の地位は著しく安定した。文化生活や社会的地位に平等が得られ、経営改善や土地改良に意欲がわき、農地の交換分合をはかりたいと考える農民が多くなった。一方で、地主制度の復活が懸念されたため、耕地の移動統制を強化、抑圧し、保有地や山林の解放を推進していくことが検討された。

## ムラが変わった

農地解放は、封建的農村の基盤となった地主制をなくして、農民が、自分の土地に米を作る自作農家の創設を根幹としたものであった。それだけに、多くの農地が解放されると、解放には全く関係のなかった自作農家にも微妙な影響をあたえることになった。きのうまでの小作人が、そのムラで環境や立地条件の最も良い上田の地主となり、加えて、耕地反別の変動が、ムラの農民層の地位や序列を大きく変えたのである。

はいけいふるよとさん

3月2日 発

# ここは孫の 通学に便利

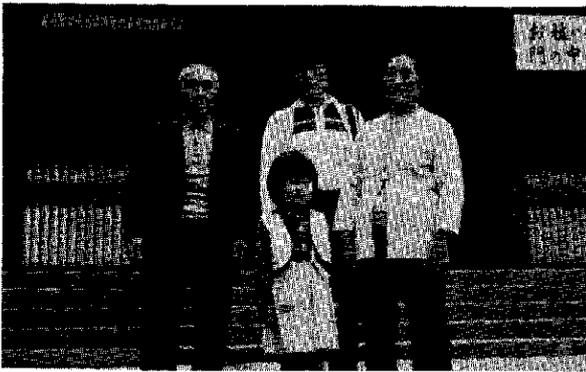
## 厚木市 川崎保 一さん (越ヶ沢出身)

私は、この地に越して来て、一番心配していたのは、孫たちの通学のことでした。  
幸い、学校が自宅から三百メートルくらいの距離なので喜んでいきます。ここは、平塚・厚木・相模原を通る国道二一九号沿え

にあります。登下校には、専用の歩道橋を利用しています。児童数一、八〇〇人、教職員五六人のマンモス校で、見回りも満足にできない状態です。川西町の小学校にくらべて、あまりよいとはいえません。

当地は、農家が多く相模川沿岸の台地に一七〇町歩(ヘクタール)の田んぼがあります。田植えの始まるころや稲の生育を見守るのを楽しむの一つにしています。ここ山際というところは、昔、養蚕の産地だったのだからさんの桑畑があります。今でも植えたばかりの苗木を見かけることもあります。この辺の田んぼのあぜはブロックで、一反歩(二〇アール)ごとに区切られています。畑も段差がないので、越ヶ沢とちがって何をやるにも手間がかからないようです。

2年前に家族と鎌倉八幡宮前で



四月は、飯山観音の桜まつり

があります。二千本の桜の木が並び、いろんな催しが一週間も続きます。七月に入ると三日間厚木のアユ祭りがあります。相模川、中津川、小鮎川三本の合流地点の広場で、三千発の花火大会や一万人のアユのつかみ取り大会があります。私は、今年で三回目を迎えますが、この日の来るのを楽しみにしています。  
秋の敬老の日には、午前と午後に分けて二日間、市の主催で文化会館に有名歌手を招き、観光バス二十七台で送迎してくれます。ところが、あまり大勢で宴会などはできず、現金三千円とお土産をもらって帰ります。  
スーパ―や米屋で、新潟米コシヒカリ一〇キロ入りが売られています。五千八百円と五千四百円で、ササニシキは五千三百五十円です。  
私の勤めている食品会社でも一日に一〜二等米を五俵(三〇キロ)ほど使っています。ところが、いずれも花笠米、宮城米福島、富山、近江米などが使われています。  
これからの農業は、きびしい時代に入りますが、皆さん健康に注意されて、おいしい米をお作りください。

## 東京からツアー来町

五月六日、東京中仙田会と果鴨陸(むつみ)会(いづれも小林荘平会長・中仙田出身)の一行三十八人が来町しました。  
一行は、前日柏崎・米山山荘に一泊。午前は木落・田口直人氏のキノコ栽培を見学し、正午に節黒城跡へ到着しました。展望台で松葉荘のおにぎりを食べたのち、上野・星名家や松乃井酒造、千手観音、松屋織物を見学。最後に小嶋屋に寄り、夕刻帰京しました。

## 挑戦!!

## 信濃川沿いをウォーク

五月十五日、「電気と自然のふるさと」をテーマに第一回信濃川河岸段丘ウォーク大会(同実行委員会主管)が市長(谷市長)が開かれました。

津南町、中里村、川西町をそれぞれスタートし、小千谷市にゴールするコースには、総員四百一十一人が参加しました。総合体育館前を出発地点とした二十キロコースには、四歳から六十六歳までの二百二十人が参加。あいにくの雨模様の中、蛇行した信濃川沿いをマイペースで歩いた参加者は、歩くことの大切さと、よい思い出をつくれたことでしょう。



軽い足どりスタート (191番: 南雲町長, 192番: 石沢教育長)



星名家の茶室を見学する一行

# 健康づくり 標語募集



締め切り 7月10日  
(当日消印有効)

### 応募方法

はがき1枚につき1作品。住所、氏名、年齢、職業、電話番号明記。役場内保健衛生課あて(特に、小・中学生の応募を歓迎します)

### 入選

秀作 1 佳作 2

入選者に記念品を贈ります。

### 入選発表



乳児検診 (5,16 総合センターで)

本紙上で発表。

9月4日の健康づくり大会で記念品贈呈。

### その他

入選作品の著作権は、町に帰属する。

### 選考委員

三役、教育長、健康づくり審議会長、総務課長、保健衛生課長。

## ガイド

# 情報

★停電は、今回ありません。

### 心配ごと相談

6月12日(日)……橘コミセンター  
19日(日)……克雪センター  
26日(日)……総合センター  
7月3日(日)……上野コミセンター  
10日(日)……橘コミセンター  
時間は、午後1時～3時です。

### 移動交通事故相談

6月6日(月) 十日町市役所  
受付は、午前10時～午後2時

## コシヒカリの町を紹介

5月11日橘ライスセンター付近の田んぼで、NHKビデオ撮りがありました。

この収録は、来年全国各地で開かれる「食と緑の博覧会」(新潟市会場7月14日～9月3日)のテーマ映像「輝かしいのちの未来」の中に入るようです。



きょうもテニスでさわやかな汗

♡ 検察庁に勤めています。四年前地元の勤務となり、そのとき町のテニス協会に入りました。会員三十人の半数は女性で、その中に光ってる彼女がいました。  
♡ 就職と同時にテニス協会に入会し、練習に熱中していました。テニス仲間が知らぬ間に根回しをしてくれて彼と、ダブルスを組むことになりました。  
♡ どこへ行くにもラケット持参  
♡ 新婚旅行はシンガポールへ

### 仲間がムード作り

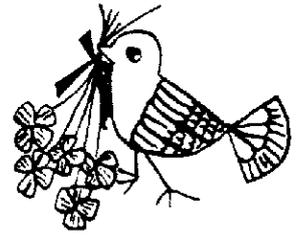
♡ 小林 隆さん  
♡ さかえさん  
(木落から)



23

行きました。最高のコートでプレーしたことがいい思い出です。今年五月の連休も佐渡めぐりに行きましたが、結局はテニスのみで、どこも見物はしませんでした。  
♡ お互いにスポーツをやっていると、共通の話題もあるし、気軽に声をかけられることがよいことだと思えます。練習や試合を通じて、町内外にたくさん友人ができました。  
♡ いつまでも大切なものだから  
♡ 転勤族なのでいつまでも地元に戻れないのが残念です。どこへ行くにも、彼女とラケットは離しません。僕にとって最高に大切なものですから。  
♡ 結婚してもまだ青春気分です。いられるのも、嫁ぎ先の両親の理解と感謝しています。勤めとテニスはずっと続けたいと思います。

# 善 意



## 広報発行に

(敬称略)

- 匿名希望(相模原市) 五千円
- 小林莊平(豊島区) 一万円
- 匿名希望(横浜市) 二万円
- 柳栄松(茨城・神柄町) 一万円
- 高橋キミ(志木市) 一万円
- 佐藤良三(豊島区) 一万円

## 庁内人事

- 退職 五月二十一日付
- 資産税係長 丸山カツ子
- 異動 六月一日付
- 資産税係長事務取扱(兼務) 小海 正隆
- 税務課長補佐 小海 正隆



# 小林タミイさん 県知事から表彰

四月二十六日新潟市公会堂で日本看護協会新潟県支部創立四十年記念式が開かれました。席上、中屋敷の小林さんが、看護業務功労者として、県知事から表彰されました。

四月二十六日新潟市公会堂で

日本看護協会新潟県支部創立四十年記念式が開かれました。席上、中屋敷の小林さんが、看護業務功労者として、県知事から表彰されました。

表彰されました。

## わんきん

老齢基礎年金の請求は  
**あせらず**  
慎重に考えて

## ふくし

老齢基礎年金は、六十五歳から受けることになっています。しかし、希望で六十歳から六十四歳までの間に繰り上げて請求(受給)することができます。

この繰り上げ請求は、年金を早く受ける代わりに、いろんな制限があります。ですから思いもよらぬときに、後悔することになりかねません。繰り上げ請求

求は、取り消しができませんので、よく考えてから請求しましょう。繰り上げ請求による制限は、次のとおりです。

- ①年金額が一生減額のままです。裁定請求したときの年齢によって、減額する率が決められています(左下の表参照)。この率で計算した減額年金が一生続きます。
- ②厚生年金などの特別支給の年金が停止になります

- ③遺族年金が停止になります

## 主な職歴

- 20・4 新潟医科大学附属病院 勤務
- 23・5 新潟医科大学附属病院 勤務
- 24・1 千手町保健指導婦
- 25・11 千手診療所看護婦
- 27・3 千手診療所看護婦
- 61・3 千手診療所看護婦

## 掛けた期間による年金額早見表

保険料 納付期間	65歳 の本 年金	繰上げした場合の年金額				
		60歳(58%)	61歳(65%)	62歳(72%)	63歳(80%)	64歳(89%)
19年	508,500	294,900	330,500	366,100	406,800	452,600
20年	523,100	303,400	340,000	376,600	418,500	465,600
21年	537,700	311,900	349,500	387,100	430,200	478,600
22年	552,400	320,400	359,100	397,700	441,900	491,600
23年	567,000	328,900	368,600	408,200	453,600	504,600
24年	581,600	337,300	378,000	418,800	465,300	517,600

厚生年金などの遺族年金を受けている人が、老齢基礎年金を繰り上げ受給すると、六十五歳になるまで、遺族年金が受けられなくなり、遺族年金が受けられませ

ん  
老齢基礎年金を繰り上げ請求した後、障害者になっても、障害基礎年金の裁定請求はできません。

せん。したがって、減額された老齢基礎年金だけをそのまま受けることになります。

⑤寡婦年金の受給権がなくなり、夫の死亡で、六十歳から六十五歳までの間に寡婦年金を受けたい人が、老齢基礎年金を繰り上げ請求すると、寡婦年金を受けられる権利がなくなります。

# 戸籍の窓から

うぶ声 — おすこやかに

丸山 雅孝 一 弘 長男 原田  
 高橋 直一 直 枝 長男 室島  
 羽鳥 優宏 賢太郎 長男 木落  
 丸山 健一 一 郎 二男 中屋敷  
 根津 亮輔 秀 一 長男 元町  
 山家 幸子 四 郎 長女 木落

野澤 惠季 洋 子 長女 仁田  
 佐藤 浩之 喜 一 五男 野口

昇天 — 「ごめい福を祈る

小林 和博 25 (勇二) 中仙田  
 中條 平吉 62 (本人) 木島  
 大野 市榮 71 (本人) 大白倉  
 高橋 千代野 72 (本人) 高倉  
 小林 松蔵 76 (本人) 山野田  
 佐藤 トノ 78 (茂志) 中島町  
 田村 寅吉 85 (増太郎) 上野  
 羽鳥 福松 90 (副太郎) 木落

先月号で田中カウは田中カクさんの誤りでした。訂正します。

たかさこ — 「円満に

（小海昭浩 小根岸  
 真霜豊子 十日町市から  
 上村和利 上野  
 南雲琴江 十日町市から  
 田中 茂 小千谷市から  
 丸山 洋子 根深  
 佐藤 稔 中屋敷  
 田口裕子 十日町市から  
 押木 強 中仙田  
 杉田 晴美 吉川町から  
 おわび  
 先月号で、高橋明子さんの出身地十日町市は、中仙田の誤りでした。訂正します。



## かわにし 俳壇

太田白南風選

霜条 星名 星光

○夏蔭草の深みに太々と  
 葉桜の吹かる、影の地に揺るる

所沢市 池上マサ子

○麦笛を吹く小さき頬ふくらまし  
 利根川を渡り子を訪う麦の雨

大倉 中条 石平

鯉横に並んで泳ぐ風  
 日に当る若葉のかげり柔かに

野口 野沢 寅生

ぜんまいの上中分けし庭かな  
 早生ものの芽のよく揃え桐の花

岩瀬 小川 益栄

国宝の塔を埋めて寺若葉  
 朝顔の種子蒔く土を平らかに

小白倉 江口みゆき

大木をうずめて藤の花さかり  
 藤の花映す水ゆれ鯉動く

霜条 大海 白濁

葉桜の下の竹洞句碑に行つ  
 白牡丹まわりの闇を近付けず

三領 水品 律

新しき急須ほとけに新茶くむ  
 菩提寺の若葉が匂うお斎の間

小脇 佐藤 信一

菜の花に紋白蝶の日和かな  
 山吹の咲きつぐ里の五月晴れ

八王子市 松浦 サク

魚焼く匂いただよう春の昼  
 新婚の新しい家つばめ来る

伊勢原市 金子 桂吉

予約せし新茶の包み届きけり  
 梨咲いて匂いの甘き野道かな

中島町 相沢 鈴江

ままごとの囲むごちそう桐の花  
 桐の花落ちてひっそり蟻の宿

発電所通り 小川 京子

初蟬の二三度鳴きて清々し  
 風薫る富士全景の峠かな

中仙田 左 木人

羽化の蝶そつと残して草をなぐ  
 新緑や光りにわかに雨上り

守口市 大久保 正作

点字読む指なめらかに初夏の宵  
 さえずりの風に乗ってくる五月晴

野口 野沢 幸

杉の枝垂れ下がりたる梅雨の中  
 満面の水たたえたる早苗かな

新町新田 万 柿

## 健康はきれいな歯から

あなたのご家族には虫歯がある人はいませんか。食べものを食べるには丈夫な歯が必要なこととは、いうまでもありません。

川西中学校の三年生百五十人のうち、二十九人（およそ二〇％）の生徒は全然虫歯がなく、一度も治療したことがありません。生徒さんから聞いたおもな「声」を紹介します。

「小さい時は注意されたけど、今はちつとも。」

「あまり神経質になつていない」

「歯みがきは一日何回しますか。」

「朝ごはん夕方ごはんの後、あ

「朝ごはんの前と、寝る前にもします。」

「食べものの好き嫌いは、好き嫌いはありません。」

「牛乳とおせんべいが好き。」

「ジュースやコーラもよく飲みます。」

「家族の中で虫歯の無い人は、」

「父と妹」

「お母さん」



丈夫な歯のみなさん (5・26)

取材していて気がついたことはどの生徒も「健康体」といった感じでした。先生に聞いたところ部活でも活躍している元気な生徒たちとのこと。

歯の形が大きくそろつていて、何か頑丈そうなキラキラの白い歯。歯の痛みを経験したことのないキズのない歯。

大切にしてください。